

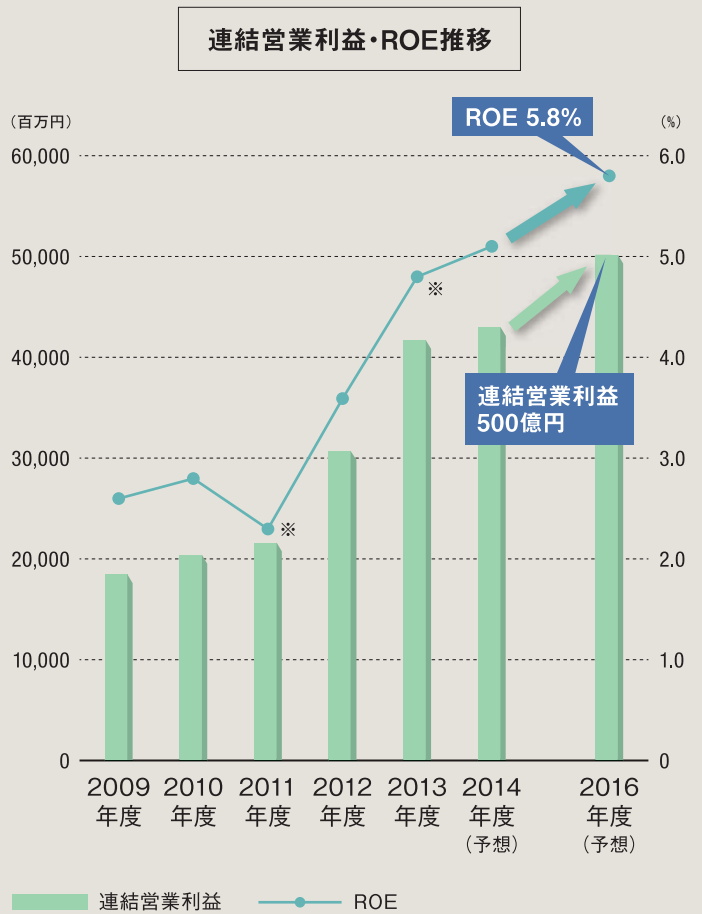
■数値目標 (2016年度)

連結営業利益	500億円
連結営業利益率	4.2%
ROE	5.8%
ROA	4.8%
営業キャッシュフロー	1,300億円以上 (2014～16年度累計)

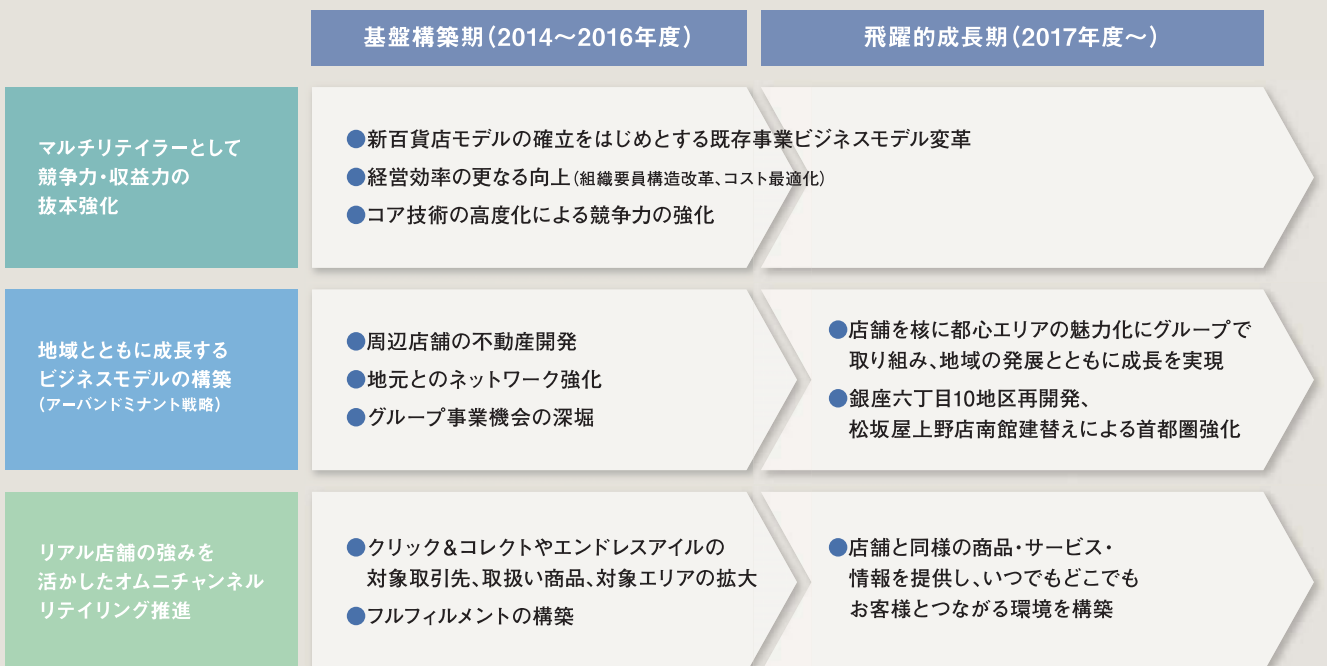
■設備投資・成長投資 (2014年～2016年度 累計)

百貨店事業	495億円
パルコ事業	370億円
その他の事業	35億円
M&A枠	200億円
[合計]	1,100億円

■数値目標グラフ

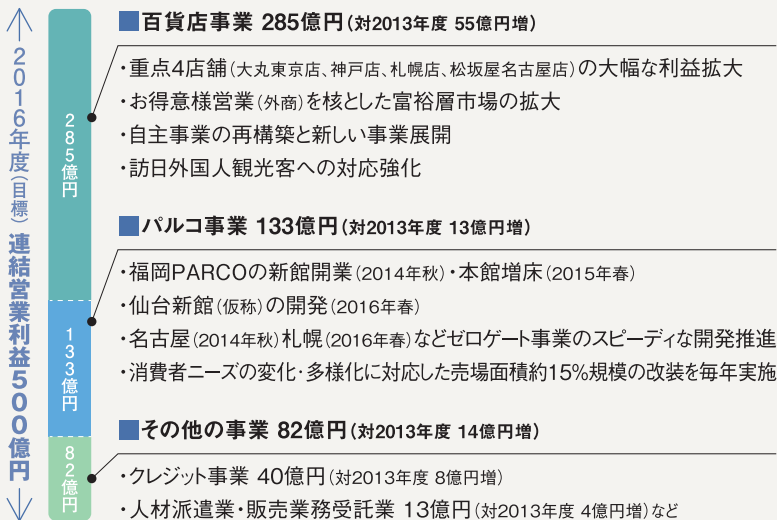


■2014～2016年度 中期経営計画の位置づけ



■中期的な成長イメージ

◇マルチリテラーとしての競争力・収益力の抜本強化



大丸東京店



松坂屋名古屋店



福岡PARCO新館(仮称)完成予想図



名古屋ZERO GATE(仮称)完成予想図



◇地域とともに成長するビジネスモデル構築(アーバンドミナント戦略)

■銀座六丁目10地区再開発 (2016年11月 開業予定)



施設外観イメージ ※今後変更になる場合があります。

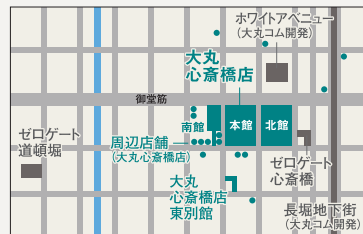
日本国内だけではなく、世界中から多様な人々が訪れる『銀座』に相応しいコンセプトをもった、これまでにない新しい商業施設の創造に取り組み、他の商業床保有者とともに商業フロア全体を一体的に運営します。

■松坂屋上野店南館建替え (2017年秋 開業予定)



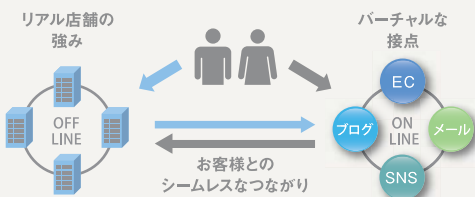
南館を、現在の上野・御徒町地区にないパルコ、シネマコンプレックス、高機能オフィスから成る高層複合ビルに建替えます。再開発が進む上野・御徒町地区に新たな賑わいを創出し、地域の活性化に貢献します。

■心斎橋地区再開発



大型商業施設のオーバーストア化で競合が激化する大阪地区での競争力を抜本的に強化するため、大丸心斎橋店(本館、北館、南館)を中心に周辺の不動産・商業施設活用を含めた心斎橋地区再開発計画の具体化を進めます。

◇オムニチャネル・リテリングの推進



中長期的には、主要都市圏において、店舗を核にグループの支持を高め、ネットでもリアル店舗でも同様に商品・サービス・情報を提供し、いつでも、どこでもお客様とシームレスにつながることで、お客様へのきめ細やかな対応を実現し、競合他社に対する優位性を確立します。



2017年以降の飛躍的成長へ